

2017年度 地域包括支援センター社会福祉士 実務研修

実践報告会 開催要項

1. 研修の狙い

地域包括支援センター（以下、「包括センター」）が設置されて12年目を迎え、各包括センターで様々なソーシャルワーク実践が展開されています。

本会では、包括センターに従事する社会福祉士が、「地域包括ケア」構築に向けて何を課題として捉え、どう支援すべきかを考察した上で言語（可視）化し、次にソーシャルワーク実践を振り返って省察した上で、共有・蓄積する事を目的に実践報告会を開催致します。

2. 開催期日・場所

- 2017年10月21日（土）10時00分～16時30分（受付は9時35分～）
- 大分県総合社会福祉会館 3階 中研修室（301・302室）
（住所；大分県大分市大津町2丁目1番41号、電話；097-558-2945）

3. 主催

- 公益社団法人 大分県社会福祉士会 （地域包括支援委員会）

4. 定員

- 50名程度 ※定員を超えた場合、本会会員を優先させていただきます。

5. 受講費（資料代含む）

※会員とは、社会福祉士会会員の事です。

- 会員・一般； 1,000円
- 非会員； 2,000円

6. プログラム

時 間	内 容 ・ 講 師
9：35～	受け付け
10：00	オリエンテーション、開会挨拶（地域包括支援委員会 担当理事）
10：15 ～11：45	講義「成年後見制度の概要と、本人の意思決定支援（代理権・取消権行使）の在り方について」 講 師：田中 利武氏（大分あおば法律事務所 弁護士・社会福祉士）
11：45～12：45	< 会場設営・昼食休憩 >
12：45	実践報告とグループ討議（意見・情報交換）

～ 15:15	「包括の社会福祉士としての認知症独居高齢者への関わりについて」 講 師：松木 優香（地域包括支援委員会 委員） 兵頭 和浩（地域包括支援委員会 委員長） ファシリテーター：大分県社会福祉士会会員・コメンテーター
15:15～15:30	< 休 憩 >
15:30 ～16:30	まとめの講義「(包括の)社会福祉士の専門性と成年後見制度利用促進法への関与について」 講 師：佐渡 志保（地域包括支援委員会 委員） 梶原 貴久（地域包括支援委員会 担当理事）

※プログラムは予定です。時間・内容は変更する事があります。

7. 申し込み方法（締切日：9月30日必着）

- 別紙参加申込書にご記入頂き、FAX又は郵送でお申し込み下さい。
※但し、定員になりしだい締め切らせて頂きます。
- 昼食を希望される場合は、当日（受け付け終了時まで）弁当を斡旋しています
⇒1食お茶付き500円程度。希望される場合、申込書にご記入下さい。

8. 研修種別・単位数

- 全てのプログラムを修了する事で、新制度では「生涯研修制度独自の研修5時間」となり、旧制度では「共通研修過程5単位」となります。
- 全てのプログラムを当会規定の遅刻や早退無く受講された方には、受講証を発行します。

9. 懇親会について

- 研修終了後、JR大分駅近辺で懇親会を行います。会場は当日ご案内致します。
- 参加希望の場合、申込書にご記入下さい。なお、参加を希望される方は、懇親会費を当日受付にてお支払い下さい。

< 予 定 > ◆ 開始時間：18時頃より ◆ 懇親会費：4千円程度

< お問い合わせ・お申し込み先 >

公社) 大分県社会福祉士会 事務局

〒870-0907 大分県大分市大津町2丁目1番地41号 大分県総合社会福祉会館2階

電話・FAX: 097-576-7071 E-mail: oita-jacsw@axel.ocn.ne.jp

【注】研修当日は、会場に直接電話をして下さい！